



- ◆国際ロータリー会長
ステファニーA.アーチック
- ◆第2660地区ガバナー 大橋 秀典
- ◆クラブテーマ「言葉ではなく行動で」

本日例会 2024年11月14日(木) 第983回

担当：国際奉仕委員会
卓話：「GGを使用する
国際奉仕プロジェクト
について」
小林 澄子 会員

前回例会 2024年11月 7日(木) 第982回

創立24周年記念例会
第一部「例会」

1. 開会点鐘 会長
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング「奉仕の理想」
4. 四つのテスト唱和
5. お客様のご紹介
米山奨学生 宋 ハヌルさん
6. 誕生日のお祝い 小林会員 柳本会員
7. ニコニコ箱報告(小計27,000円 累計106,000円)
江端会員 創立おめでとう！
藤井俊章会員 祝24周年
福田会員 おめでとうございます。
金崎会員 創立24周年記念おめでとうございます。
小林会員 77才喜寿になりました。
長野会員 祝守口イブニングRC24周年
中道会員 24周年おめでとうございます。
大島会員 おめでとうございます。
柳本会員 喜寿到達
8. 委員会報告
①10/27(土)くずはRC創立50周年式典出席報告 長野会長
②10/27(土)IA年次大会出席報告 福田会員
11/2(土)大阪朋友RCチャーターナイト出席報告 福田副会長
③吉岡会員からの案内
9. 幹事報告
○定例理事会報告
①選考委員選出の件(承認)
福田会員、金崎会員、長野会員、水谷会員、
柳本会員が選出されました。
②次年度地区出向者の件(承認)

現出向者のIA委員会水谷会員、RYLA委員会北山会員に意向を確認した上で、継続出向を依頼する。

- ③台北長安RCからのGG事業参加確認の件参加することで承認。
- ④石川豪雨災害義援金の件(承認)
例会時募金総額14000円。
送金金額は委員長に一任。
- ⑤平野RC創立50周年式典の件(承認)
長野会長が出席
- ⑥ニコニコ預金からの借入の件(承認)
出勤手続きのため、キャッシュカードを作成する。
- ⑦クリスマス例会の件(承認)
開催概要について、福田親睦委員長より説明。次週案内を配布する。

○事務局閉局連絡 10/8(金)半日休暇取得
勤務時間 10:00~13:00

○11月例会開催日 11/7、11/14、11/30
※11/21と11/28は例会休会

10. 出席報告(会員総数17名)
11月 7日 出席12名 欠席5名 出席率70.59%
メイクアップ報告
10月10日 出席10名 欠席7名 出席率58.82%
(メイクアップ者 1名)
11. 閉会点鐘 会長

第二部「祝宴」司会進行 福田親睦委員長

1. 会長挨拶 長野会長
2. 乾杯 乾杯発声 柳本直前会長
3. 「創立24周年を振り返って」金崎パスト会長
4. 閉会の辞 大島パスト会長
5. 閉宴

次回例会 2024年11月30日(木) 第984回

移動例会「地区大会」2日目「本会議」
会場：大阪国際会議場
時間：受付12:00~
本会議13:00~16:00
※名札を忘れずにご持参ください

「守ロイブニングRC

創立24周年記念例会」

◆会長挨拶

長野会長



守ロイブニングRC24周年おめでとうございます。

一言で24年と言いますが、24年の歴史の中には様々な苦労もあったと思います。

2000～01年発足時には、会員41名から始まり次の年度に2名が入会し43名に。同年度末には9名が退会。そして現在は17名と会員が減少しています。個人個人、色々事情はあると思いますが、このままでは立ち上げ当初からの諸先輩方に申し訳ない気持ちです。今年度は、一人でも多くの会員を増強し、2000年当時の活気を取り戻しましょう。本日の24周年記念にはふさわしくないお祝いの言葉かもしれませんが、絶対に守ロイブニングRCを衰退させたくないの、会員全員で一致団結し頑張っていきたいと思います。本日はおめでとうございます。



◆創立24周年を振り返って 金崎会員



平成7年阪神淡路大震災が発生しました。震災1か月後に読売新聞社主催の移動相談所へ、13時から15時半までボランティアとして参加しました。会場は学校の校庭に立てたテントで、7名の方の相談に対応しました。雪が降る寒い日でした。ボランティア活動はその1日だけでした。

私が守ロイブニングRCに入会し、会長に就任した年度の2011年3月11日に東日本大震災が発生しました。守口市が大槌町の支援担当となり、当クラブとしても町長が震災で亡くなられた大槌町の支援をすることに決めました。支援活動としては、姉妹クラブの台北長安RCから義援金として約58万円を送金して頂き、会員の義援金活動や街頭募金活動を行い、4月7日に当時の福田幹事に義援金約171万円と、旭区医師会からの文房具等の支援物資を現地へ持って行って頂きました。出発時に私が福田幹事を水盃で送り出したという噂が流れるほど状況が見えない時でした。その後も軽自動車の無償貸出や支援物資の郵送、地区補助金や地区基金を活用して大槌町の教育委員会、学校、幼稚園へ備品を寄贈。福島県の病院と幼稚園へ逆浸透膜浄水器の寄贈も行いました。また2017～18年度の私が社会奉仕委員長就任時には、台北長安RCとの姉妹クラブ締結10周年事業として支援金30万円を大槌町教育委員会へ贈呈し、私と福田副委員長が現地へ持参しました。RCに入会し会員になったことで、個人のボランティアよりたくさんの困っている人を助けることができたのではないかと考えています。体も使って、お金も使って支援することがロータリーの奉仕ではないかと考えています。